



# 仙台三高

## 仙台三高PTA会報



### ●●目次●●

- ごあいさつ…………… P 2
- 各学年より…………… P 3
- PTA活動報告…………… P 3
- 学校行事あれこれ…………… P 4
- 三高時代…………… P 4
- 高校総体・文化部活動報告… P 5～7
- 職員紹介…………… P 8

編集発行  
 宮城県仙台第三高等学校PTA事務局  
 〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷1丁目19番  
 TEL 022 (251) 1246 FAX 022 (251) 1247  
 印刷 創文印刷出版株式会社  
 題字 菊田奈穂 (48回生)

# 環境を創るのは自分自身



PTA会長 千葉 真己恵



美しいメロディーを産み出すミュージシャン。美しい作品を創りあげるアーティスト。障がいがありながらもトップに上り詰めたアスリート。ビリから一流大学に合格した学生。誰もが信頼をおく素晴らしいリーダー。優しさが溢れる夫人。心を動かされる人達に共通するもの。それは皆、想像を超える苦勞や困難を経験してきたという点です。悲哀とは、親ならば、決して我が子に味わつては欲しくない心情ですが、素晴らしいものを残す人間には欠かせない要素だと思います。

10代の頃の経験は、人生を大きく左右します。ハードシップをどう捉えるか、どう乗り越えていくかがカギとなり、現に私自身も、10代で経験した数々の大きい壁は、現在の私を形成する大事な要素となっています。

幼少期に震災を、10代でコロナ禍を経験した皆さんは、未来に不安を感じているかも知れません。世界が閉塞的な今、思い描いていた夢の方向転換を検討せざるを得ない人もいるかも知れません。しかし、10代こそ、情熱を燃やし、崇高な目標に向かって、決意を固め得る年齢であります。10代のエネルギーの噴出を止

める必要は全くありません。歴史を繙いてみると、10代に天賦の才能を開花させた天才達の何と多いことでしょうか。人間は本来、誰でも「思いつきり活躍できる場所」を求めています。震災にあおるが、疫病が蔓延しようが、今はしっかりと実力をつけることです。実力とは、知性、健康、想像力、思いやり、心の強さ、明るさ、あらゆる点が含まれます。「恵まれた環境だから幸せ」とは限りません。「大変な環境だから不幸」とも限りません。どんなに「恵まれた環境」でも「自分をダメにする環境」にしてしまう人もいます。幸福は「強い心の中」にあります。「環境は私自身が創る！」との意気込みで、三高生の皆さんが、人生という物語の主人公を謳歌していけるよう応援しています。



# 解のない社会



校長 佐々木克敬



日ごろから保護者の皆様には本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。また、昨年度から本校が県高P連事務局校となり、県全体のPTA活動にも積極的にご参加いただき心より感謝申し上げます。

2年ぶりに開かれた高校総体は残念ながら無観客での実施となり大会での応援を楽しみにしていた保護者の皆様にとっては申し訳なく思っています。その中でも生徒は生き生きと楽しみながら大会に参加していました。まずは、安全に実施することが第1の目的であったことを御理解いただければ幸いです。

コロナ禍の社会情勢は、まさに解のない時代になってきたのかも知れません。まん延防止と経済の関係は勿論のこと、様々な選択を突きつけられる状況です。新聞やテレビに目を移すと政治面ではオリンピック開催反対の論調や慎重論の社説があるかと思えば、社会面やスポーツ面では聖火ランナーのエピソードや日本代表選手へのエールが見られます。社会面ではワクチン接種への期待と不安が、科学面では有効性と危険性があったり、さらにはリモートワークや遠隔授業への賛否も見られます。コロナ関係以外でも

学歴偏重や不要論を唱えるテレビ局が何社も東大生を持ち上げた番組を制作しています。

このような課題に対して、次世代のSociety O 社会の目玉であるAI(人工知能)はどのような判断をするのでしょうか? また、その判断に従って人間は素直に行動するのでしょうか。AIが判断したことを理由に行動する人々が増えるのかもしれないが、それはそれでの新たな課題ともなりそうです。

さて、私たち世代は10年前に未曾有の災害を体験しました。命に関わる案件に限らず、日常生活の細かなことでも解の見えない日々には私たちは何を基に判断を下したのでしょうか。当時は批評を下すにどまらず、命や生活のために行動を起こしました。この際、私たちの判断はAIに劣るものだったのでしょうか。

これからの時代はますます解のない課題が多く現れると思われれます。その時に自分なりの判断基準や価値基準をきちんともって行動できることこそが主体性の具現化と考えます。単に現在の状況を矛盾であると片付けるのではなく、自分なりのような判断をし行動をするのか考える習慣が必要なようです。この中に学習を続ける意味が隠されているのかも知れません。

# 各学年より

**第一学年委員長 上釜 真理**

三高建学の精神の一つに「心身の健康」があります。この世の中、まだまだ色々な事があるように出来ず、ストレスを感じたり、気持ちもくじけそうになったり、時には困難にぶつかるとも思います。この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ。行けばわかるさ。アントニオ猪木「道」より

とにかく、元気が一番。元気があれば何でも出来るさ！



第一学年委員長 上釜 真理

## 元気があれば何でも出来る

私は折に触れて思い出し、その都度とても励まされてきました。現在コロナ禍という大変な状況にありますが、大切なのはやはり主体性を失わないことなのではないでしょうか。どんなことが世の中で起きようとも、人から何を言われようとも自分の人生です。最終決断を下すのは自分自身です。進路目標に向かって進む子を信じ、背中を押してあげたいものです。



第二学年委員長 熊谷真由美

## 進路目標の達成に向けて

かつて子ども達が幼く日常に焦りや不安を感じることもあった時に、森のイスキア主宰の故佐藤初女さんからいただいた言葉があります。「木と同じ。いくら揺さぶられても、芯がしっっかりしていれば大丈夫。」と。この言葉を



第三学年委員長 川元 茂

## チーム三高の団体戦がはじまる

コロナ禍での高校総体が終わり、いよいよ3学年は、来年の受験に向け、本格的なスタートを切りました。先日はPTA第3学年前期研修会で、進路指導部長の川口先生より、令和四年の大学入試について、最新事情を伺い、親たちも改めて身が引き締まった次第です。仙台三高の受験は、全生徒がチームとして戦う団体戦と聞いています。足を引っ張るのではなく、互いに競い合い、高め合い、切磋琢磨し、志望校に挑む「チーム三高」の団体戦。素晴らしい伝統だと思います。私たち親も、団体メンバーの一員として、ともに戦いましょう！

CCCC  
9月

### 全体研修会

PTA全体研修会のご案内  
9月25日(土)を予定しています。ぜひご参加下さい。

CCCC  
10月

### PTAフェスティバル

#### 日立システムズホール仙台で開催

「みやぎ高校PTAフェスティバル2021」開催のご案内  
日時：令和3年10月7日(木)  
場所：日立システムズホール仙台  
仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

今年も三高が事務局校となっており、運営を担当します。役員一同、万全を期してがんばってきます！

CCCC  
4月

### PTA総会

今年度は新型コロナウイルスの影響で例年開催されていたPTA総会が中止となりました。

## PTA活動

CCCC  
6月

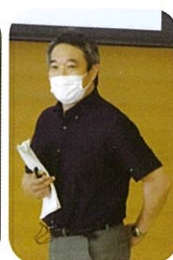
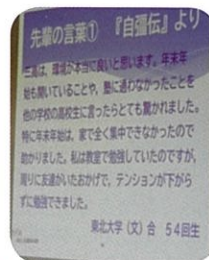
### 各学年研修会

PTA各学年研修会の開催

2年 6月20日(日)  
講師 齋藤 真先生

講師に進路指導部の齋藤真先生をお迎えし、「進路意識の向上に向けて」と題し第58回生の特徴や大学入試情報と三高の取り組みについてお話しいただきました。昨年度の共通テストで多くの学校が点数を下げた中、過去最高得点率を達成した点についてご説明があり、常に先を見越した最先端の授業を行っていただく三高の素晴らしさを再認識いたしました。

1年 6月26日(土)  
講師 前田 宏美先生  
3年 6月20日(日)  
講師 川口 雅幸先生



CCCC  
5月

### マナーアップ運動

元気な挨拶で充実した一日を

5月11日、今年度はマナーアップ運動を実施することができました。正門周辺で挨拶を交わしました。爽やかな青空の下、坂道を登校してきた生徒の元気な挨拶で、すがすがしい1日を過ごすことができました。

慌てることなく、時間に余裕を持って登校する生徒が多い印象を受けました。元気で安全に登校してほしいと思いました。  
(PTA副会長 渋谷 典子)





入学式 4月8日

三高  
入学式



三高探究の日 5月17日



歌唱指導 4月13日~16日



生徒総会 5月14日



開校記念 4月16日

ていくことを望む。



歌唱指導を終えて

應援團有志 松川 士恩

今年度の歌唱指導も正幹部不在の中、やはり

遂げた。我々應援團は、例年とは異なる環境下、真の三高生の姿を全力で伝えた。一年生諸君が、三高生としての誇りを高く掲げ、有意義な学校生活を創

### 部活(文化部)活動

#### ★放送部

第68回NHK杯全国高校放送コンテスト宮城県大会 ラジオドキュメント部門 最優秀賞(全国大会出場) 研究発表部門 最優秀賞(全国大会出場)



#### ★演劇部

6月7日(月) 富谷高校×仙台三高合同演劇公開



#### ★吹奏楽部

5月30日(日) 第32回定期演奏会



## 三高時代

仙台三高教頭 佐藤 勝義 (18回生)



入試の日、ほんとに男子ばかり 500 人を超える受験者で壮観だった。入学式の次の日、野球部の練習に行った。これで私の人生は決まってしまった。以後約 40 年高校野球に関わることになる。そこには自分の想像を超えるものがあり鳥肌が立った。朝は 6 時 30 分に家を出て、帰りは夜 9 時 30 分帰宅、野球メインの生活であったが充実した三年間だった。特に印象深いのが大会前の 1 週間の合宿で、あまりの激しさに毎日倒れる心配ばかりしていたが、体が丈夫なこと、手抜きが少々上手なため、倒れずに最後までやり切ってしまった。十代の頃にしかできないハードな練習である。教室は、三年時に普通科理系の離れた教室で、日当たりが悪く、窓からの隙間風も入り、授業中居眠りできないくらい寒かったが、食堂に近く昼休みはよくカツ丼を食べに行っていた。自分史的に三高時代は、もうあの練習には戻りたくはないが、現在の高校教員としての土台を作ってくれた貴重な濃い三年間だったと思う。



★柔道部

【男子】  
 団体戦 予選惜敗  
 個人戦 永友 ベスト16  
 81kg級 斎藤 ベスト16  
 66kg級 永友 ベスト16  
 60kg級 永友 ベスト16  
 芦原 ベスト16

令和3年度  
**高校総体**  
**活動報告**



★硬式テニス部

【男子】  
 団体戦 対仙台青英 0-2 準優勝  
 個人戦 小堤 第7位  
 シングルス 濱崎 第8位  
 ダブルス 濱崎・城組 準々決勝惜敗

【女子】  
 団体戦 榎ヶ岡 2-1  
 2回戦 宮城第一 1-2  
 3回戦 米田 1-2  
 シングルス 米田 ベスト16  
 ダブルス 米田・西山組 ベスト16  
 工藤・松島組 ベスト16



★卓球部

【男子】  
 学校対抗戦 対古川学園 0-3 惜敗  
 2回戦 工藤 ベスト32  
 シングルス 木村・舟山組 ベスト16  
 ダブルス 斎藤 ベスト16

【女子】  
 学校対抗戦 対仙台商業 2-3 惜敗  
 1回戦 豊川 2回戦 惜敗  
 個人戦 佐伯 2回戦 惜敗  
 シングルス 丹野・豊川組 ベスト16  
 ダブルス 丹野・豊川組 ベスト16



★剣道部

【男子】  
 団体戦 準々決勝 対古川 1-2 ベスト8  
 個人戦 齋藤 ベスト16  
 石川 ベスト32  
 岩佐 2回戦惜敗

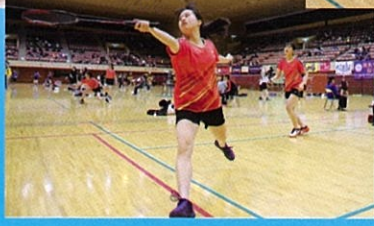
【女子】  
 団体戦 予選リーグ惜敗  
 個人戦 川畑 ベスト32  
 小倉 1回戦惜敗



★バドミントン部

【男子】  
 団体戦 対仙台台商 2-3 惜敗  
 個人戦 浅沼・熊谷組 ベスト32  
 ダブルス 塩谷・下山組 ベスト32

【女子】  
 団体戦 対白石 3-1  
 2回戦 対仙台一 1-3 惜敗  
 3回戦 渡邊(沙)・齋藤 惜敗  
 個人戦 大谷 惜敗  
 シングルス 渡邊(海) ベスト16







【女子】  
 団体戦 1回戦 対角田 3-0  
 2回戦 対気仙沼 2-1  
 3回戦 対東北 0-2  
 個人戦 2回戦 大津・保坂組 惜敗  
 1回戦 佐藤・中島組 惜敗  
 千葉・田中組 惜敗  
 久保・小野寺組 惜敗



【ソフトテニス部】  
 団体戦 1回戦 対仙台育英 2-1  
 2回戦 対生文大高 0-2  
 個人戦 1回戦 森・工藤(祐) 惜敗  
 2回戦 阿部(倫)・工藤(直) 惜敗  
 佐々木・五十嵐 惜敗  
 齋・釋氏 惜敗  
 桂島・佐川 惜敗  
 佐原・宇都宮 惜敗  
 インターハイ出場  
 ベスト8  
 ベスト16



【男子】  
 1回戦 対佐沼 6782  
 2回戦 対仙台城南 6951  
 予選敗退  
 ベスト16

★バスケットボール部



【男子】  
 3回戦 対仙台商業 0-2 惜敗  
 【女子】  
 3回戦 対利府 0-2 惜敗  
 ベスト8

★バレーボール部



【男子】  
 ★山岳部  
 団体の部 第4位 入賞

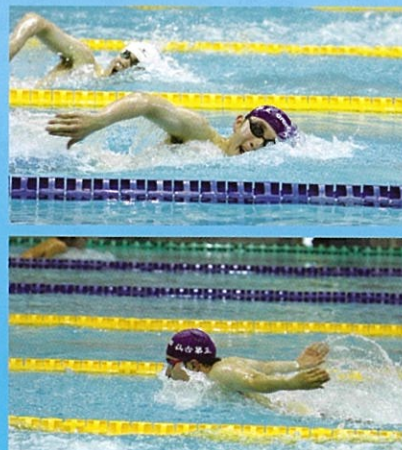


【男子】  
 団体戦 二次予選惜敗  
 個人戦 渡邊 準決勝惜敗  
 加藤 準決勝惜敗  
 【女子】  
 団体戦 第3位  
 個人戦 佐々木 第7位  
 野呂田 準決勝惜敗

★弓道部



【男子】  
 ★野球部  
 春季県大会  
 1回戦 対大崎中央 0-7 惜敗



【男子】  
 100mバタフライ 前田 第8位  
 200m自由形 千葉 第7位  
 200mバタフライ 前田 第6位  
 400m自由形 千葉 第6位  
 100m平泳ぎ 小岩 第8位  
 【女子】  
 100m平泳ぎ 大和田 第7位

★水泳部



